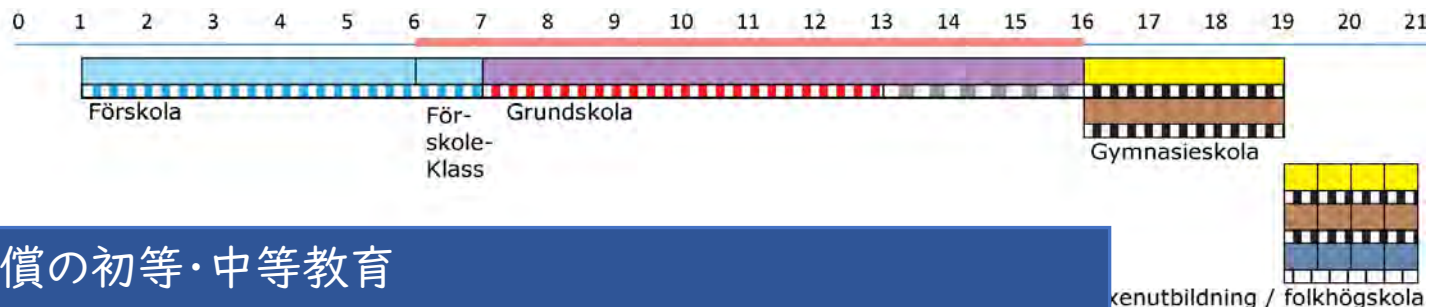


スウェーデンにおける 早期離学者と進路保障

本所恵(金沢大学)・林寛平(信州大学)

スウェーデンの早期離学対策

切れ目のない施策 と 広いセーフティネット



無償の初等・中等教育

基礎教育 (10年間義務)

- 6~9年生の4%が月に一度以上サボリ (Skolverket 2020)
- 卒業生の約15%が、高校進学要件を満たさない

後期中等教育 (3年間・権利)

- 高校進学で挫折した人への補充教育「**イントロダクション・プログラムIM**」
- 2.8%が退学、1.2%が休学後復学、4.4%が留年、13.5%が進路変更。
- 高校に行かない20歳未満の若者へのフォローアップ・支援・活動提供「**若者に対する活動責任(KAA)**」

成人教育

- 初等・中等教育の補完学修

経済的なセーフティネットと 復学に向けた支援 (現金給付)

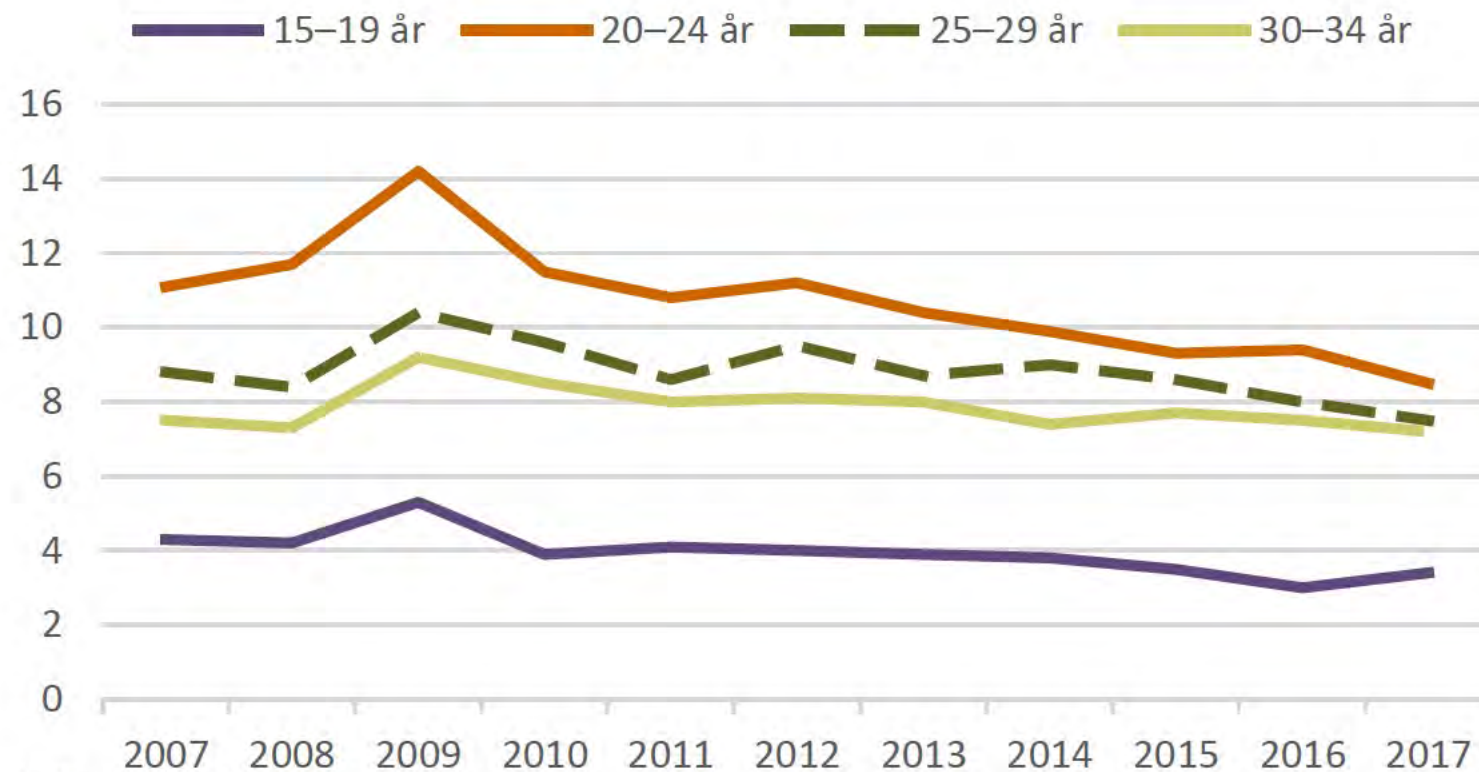
- 奨学金
- 活動補助 (職業仲介所の労働市場プログラム参加者)
- 疾病給付、活動手当 (病気などによる学習・労働の中止)
- 能力開発手当 (失業保険の非対象者)

社会問題 としてのニート

UVAS

- UVAS 審議会
 - SOU 2013:74
- UVAS 連携会
 - SOU 2017:9
 - SOU 2018:11
- 若者・市民社会庁
 - 2019, 2021『UVASへの支援』
 - 2020『長期疎外:UVASの多様な理由』

Figur 5.3 Unga som varken arbetar eller studerar (NEET) 15–34 år efter ålder, riket 2007–2017, procent



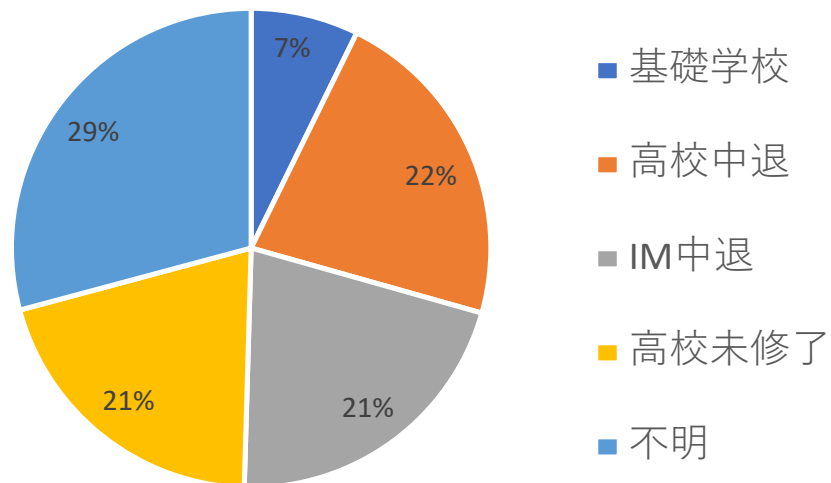
Källa: SCB, AKU.

Samordnaren för unga som varken arbetar eller studerar (2018) *Vårt gemensamma ansvar – för unga som varken arbetar eller studera* (SOU 2018:11), p.75

KAA とりこぼさない教育訓練の保障

(SCB, 2020より)

対象者の前籍



修了理由

- 20歳になった：54.2%
- 高校で学習を始めた：31.8%

支援の内容

- 相談
- 進路ガイダンス・相談
- 定期的な面談
- 職業紹介・検索 など

支援後の活動

- 職業 18.2%
- 高校での学習 16%
- 成人教育機関での学習 9.8%
- なし・不明 28.6%

IM 学力不足の高校生への補充教育

- 高校必修科目は免除
- 中学校科目の履修
- 各生徒への個別教育課程編成

- 4種類のコース
 - ① プログラムに向けた選択
(Programinriktat val:IMPRO→IMV)
 - ② 職業イントロダクション
(Yrkesintroduktion:IMYRK→IMY)
 - ③ 個別
(Individuellt alternativ:IMIND→IMA)
 - ④ 言語イントロダクション
(Språkintrouktion:INSPR→IMS)

IM 設置状況・生徒数

| 2019/20 | 設置自治体数 (市) | 学校数 (校) | 1年生 (人) | 2年生 (人) | 3年生 (人) |
|------------|---------------|------------|---------------|---------------|--------------|
| 高校全体 | 251 | 1307 | 135,795 | 114,606 | 104,603 |
| IM | 248 | 908 | 27,060 | 10,985 | 6,832 |
| (%) | | | 19.9% | 9.6% | 6.5% |
| IMV | 195 | 626 | 4,859 | 2,444 | 1,206 |
| IMY | 197 | 476 | 4,755 | 2,591 | 1,727 |
| IMA | 231 | 418 | 8,287 | 2,406 | 1,321 |
| IMS | 231 | 366 | 8,989 | 3,339 | 2,503 |
| ナショナルプログラム | 221 | 1185 | 108,735 | 103,621 | 97,771 |

Uven gymnasiet (2018年調査)

- 市内の公立高校IM(35校)の連携
- IMA
- 提供科目:
 - (中) スウェーデン語、英語、数学、宗教、歴史、社会、地理、家庭科、生物、音楽、美術、化学、物理
 - (高) スウェーデン語
- 教育課程や時間割は個別化
- 授業は一般的なグループ授業。課題の個別化等。遅刻を分カウント。
- 生徒: 約100名(常に新入&転出)。
- 社会的支援を受けている生徒が多い。不安定な生活習慣、社会への関心のなさ。
- 「上手くいっていないのは生徒ではない。学校だ。」

Andra Chansen

(2018年調査)

- 2009年設立 セカンドチャンス校
- 生徒:基礎学校卒業後+高校中退(35人程→70)
- 提供科目:(中)スウェーデン語、英語、数学
- 50分授業。基本は個別学習。必要に応じて教師が支援。
- 学習や職業実習を通して、就労に結びつける。
- 「無理な目標を課さず、現実的な将来像を描くよう支援する」
- 生徒の進路
 - 半数弱の生徒は1年後高校へ。
 - 就職(スポーツ店、ホームセンター、レストランの店員等)・・・職業仲介所との連携
 - Folkhögskola、職業訓練など

Lundelska 高校のリソース・センター (2018年調査)

- アスペルガーなどの診断を受けた生徒対象
- 社会科学:3クラス、IMA:1~2クラス。合計45人程度
- 時間割はクラス単位。選択科目、授業内での個別対応
 - ▶スウェーデン語クラスで本を読む2人
 - ▶美術、テキスタイルスロイド等
- 「内容よりも、どのように教育するか、を考える」

Plug-In プロジェクト

2012~15, 2015~18年
8地域、70以上の市町村の
多様なプロジェクトを支援

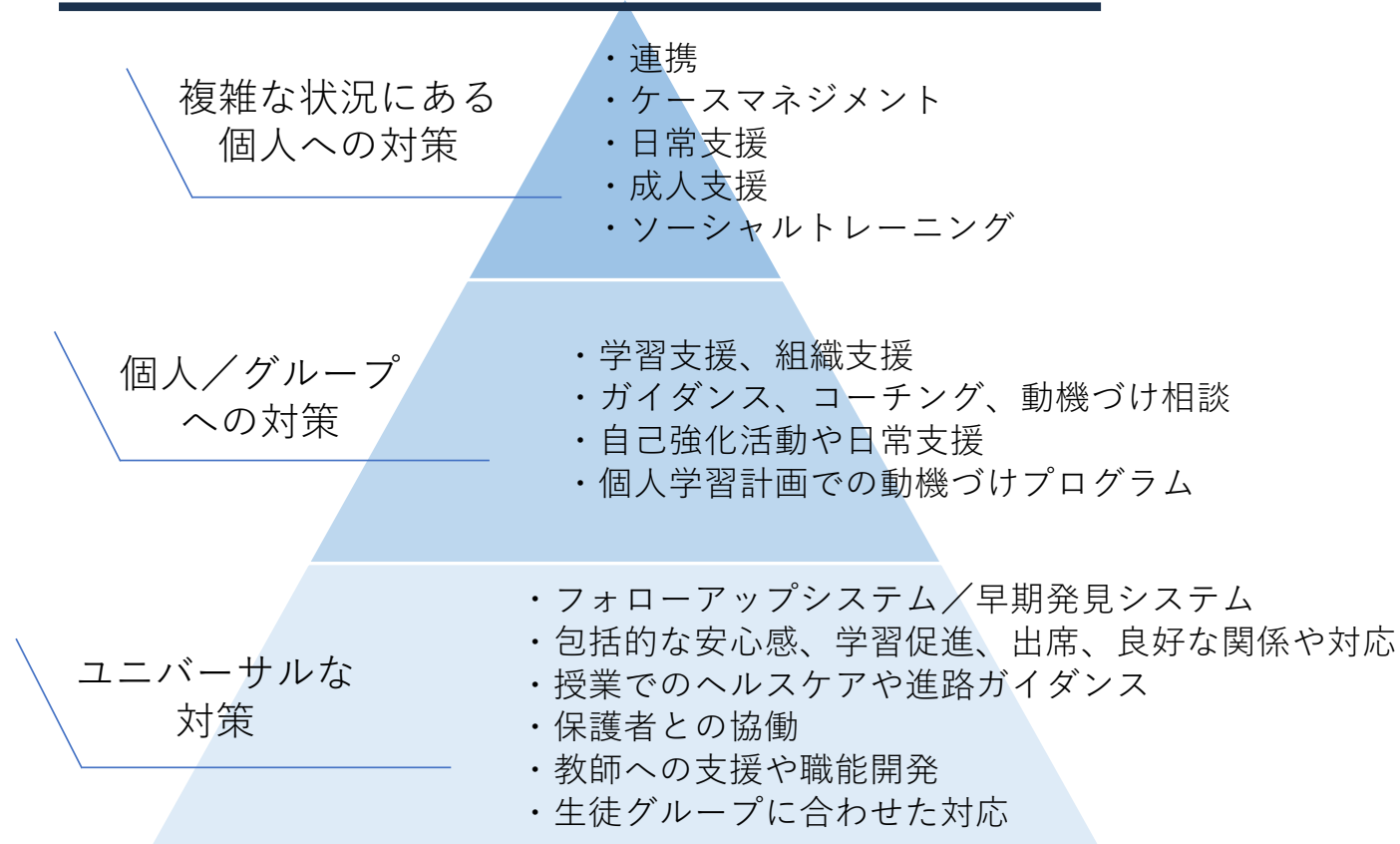
対象者

- 中退リスクがある生徒 (41pr)
- 20歳以下のUVAS (8pr)
- 15~24歳ニューカマー(35pr)

活動

- 基礎学校 21
- IMSPR 25
- IM 21
- 高校 20
- KAA 11

中退予防策の 3ステップ・モデル



まとめ

切れ目のない施策 と 広いセーフティーネット

- ユニバーサルな対応
 - …柔軟性をもつ「学校」「教育」
← 社会参加の土台
- メインストリームから離れていく子ども・若者の発見と対応
 - …IM: 高校入学時の成績、中退リスク
 - …KAA: 高校に行かない若者
→ 就職、そのための復学、をめざす

参考文献

- 林寛平・本所恵「スウェーデンの離学予防・復学支援施策」園山大祐編『学校を離れる若者たち—ヨーロッパの教育政策にみる早期離学と進路保障』ナカニシヤ出版、2021年、156-172頁。
- Samordnaren för unga som varken arbetar eller studerar (2018) *Vårt gemensamma ansvar – för unga som varken arbetar eller studera (SOU 2018:11)*
- SCB (2020a) *Kommunernas aktivitetsansvar: kommunernas rapportering perioden 2019/2020, Tabell 0.5 A-E*
- SCB (2020b) *Elever på program och inriktning redovisade efter skolår och kön, Tabell 5D*
- SKL (2018) *Studieavbrott: En fråga med konsekvenser långt utanför klassrummet.*



ありがとう
ございました!
Tusen Tack!